

佐賀県関係の人名について調べるには



所蔵図書で調べる

- 『佐賀県人物・人材情報リスト 2019』
日外アソシエーツ／編集・制作 2018
現代人名辞典。生没年・経歴・職業・肩書・出版図書等を記載。
- 『在京佐賀の代表的人物』 笠原 広／編 喜文堂 1918
明治～大正期の代表的な佐賀の人物を収録。略歴・肖像あり。
- 『佐賀幕末・明治500人』 福岡 博／編 佐賀新聞社 1998
幕末・明治期の人物を分野別に紹介。生没年・職業・略歴等を記載。
- 『佐賀県歴史人名辞典』 旧肥前史談会／編さん 洋学堂書店 1993
鎌倉～明治期に活躍した人物を紹介。市郡別に収録。生没年・略歴等を記載。
- 『佐賀藩^{ちやくとう}着到帳集成(複製)』 佐賀県立図書館内古文書研究会 1981
佐賀本藩・支藩など14家の「着到帳」(武士の名簿の意)を収録。
- 『佐賀城下町^{かまど}竈帳』 三好 不二雄、三好 嘉子／編 九州大学出版会 1970
嘉永7(1854)年に作成された佐賀城下の竈帳(一種の戸籍簿)。町別に町人・藩士が記載され、職業や家族構成についても記載。

- 『「^{こうか}弘化^{みのとし}二巳年^{しやうちやくとう}総着到」人名索引』 佐賀県立図書館／編 2011

弘化2(1845)年に作成された佐賀本藩の藩士名簿の索引。俸・居住地・役名について記載。

- 『佐賀県近世史料 第8編 第1巻』

佐賀県立図書館／編 佐賀県立図書館 2005

「葉隠(1716年頃筆録)」に記載された藩士の経歴、^{ろくだか}禄高、生没年月などが記載されている「^{ききがきこうほ}葉隠聞書校補」を収録。

- 『幕末佐賀藩の^{てあきやり}手明鑑名簿及び大組編制』(佐賀大学文化教育学部研究論文集第14集第2号抜刷)

生馬 寛信ほか／著 佐賀大学文化教育学部 2010

安政年間の手明鑑(侍と^{かち}徒歩・足軽の中間にあたる家格)名簿である「安政六年^{ものなり}物成」を元に、^{こくだか}年齢・石高・所属する組・役職・居住地などを記載。また、佐賀藩の^{おおくみがしら}大組頭編制について記した「大組頭次第」を元に、弘化元(1844)年～明治元(1868)年の佐賀本藩大組編制の変遷図も掲載。

- 『《史料紹介》幕末佐賀藩の^{てあきやり}手明鑑組について「^{げんじ}元治元年佐賀藩^{じゅうご}拾五組侍^{ちやくとう}着到」』(佐賀県立佐賀城本丸歴史観研究紀要第8号抜刷)

中野 正裕／著 佐賀城本丸歴史館 2012

元治元(1864)年の史料を元に作成された佐賀本藩の手明鑑1133人分の一覧表(50音順)。続柄・石高・手明鑑頭・大組頭について記載。

- 『安政年間の佐賀藩士 藩士名簿「^{はやびけ}早引」、^{こくだか}「石高帳」にみる』(佐賀大学文化教育学部研究論文集第14集第1号抜刷)

生馬 寛信ほか／著 佐賀大学文化教育学部 2009

^{ぶんぶかぎようほう}文武課業法(全藩士に対し身分に応じて文武の課業基準を設定し、その達成を義務づけた法的規制)の達成状況を記載。

●『《史料紹介》幕末佐賀藩の軍制について「元治元年佐賀藩拾六組侍着到」』（佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要第7号抜刷）

中野 正裕／著 佐賀城本丸歴史館 2012

元治元（1864）年の史料を元に作成された、佐賀本藩の藩士1720人分の一覧表（50音順）。続柄・石高・役職について記載。また、明治期の職業について加筆あり。



佐賀県立図書館ホームページで調べる

<https://www.tosyo-saga.jp>

●人名データベース <https://www.sagalibdb.jp/jinmei/>



県立図書館に所蔵している360点の史料（『佐賀県史』、『佐賀県教育史』、県内の市町村史、その他）から人名を拾い、収録しています。対象とする人名が掲載されている資料名と該当ページを知ることができます。

●分限帳（着到）索引データベース

<https://www.sagalibdb.jp/bugenchou/>



分限帳（着到）とは江戸時代、大名家家臣の名や禄高等を記したものです。「弘化二巳年総着到」（鍋331-62）等の史料を当館で解読した藩士名・役職名等が検索できます。

